

## 山梨県立美術館協議会資料

平成29年10月6日(金)

山梨県立美術館

目次	ページ
<u>山梨県立美術館協議会名簿</u>	1
<u>山梨県附属機関の設置に関する条例 他</u>	2
<u>山梨県立美術館組織図</u>	4
<u>指定管理者組織図</u>	5
<u>山梨県立美術館活動報告(概要)</u>	6
<u>観覧者数の推移</u>	7
<u>施設利用者の状況</u>	8
<u>平成28～29年度 特別展等一覧</u>	9
<u>教育課程の実施状況について</u>	11
<u>指定管理者活動報告</u>	17
<u>国道52号線拡幅工事について</u>	21

## 山梨県立美術館協議会委員名簿

任期：平成28年10月1日～平成30年9月30日

区分	氏名	役職	出身分野(勤務先等)
委嘱	ほりうち まさき 堀内 正基	山梨県市町村教育委員会連合会代表	社会教育関係 (北杜市教育長)
"	しおじま あけみ 塩島 明美	山梨県社会教育委員連絡協議会代表	社会教育関係 (市川三郷町社会教育委員)
"	むこうやま ふじお 向山 富士雄	南アルプス市立美術館館長	学識経験者 (南アルプス市立美術館館長)
"	つるた いちよう 鶴田 一香	山梨県文化協会連合会代表	学識経験者 (山梨県文化協会連合会会長)
"	ふるや ともこ 古屋 知子	元山梨県教育委員会教育委員長	学識経験者 (元山梨県教育委員会教育委員長)
"	てづ かよしひこ 手塚 義彦	山梨美術協会代表	学識経験者 (山梨美術協会代表)
"	たかの まごぞえもん 高野 孫左之門	株式会社吉字屋本店代表取締役社長	学識経験者 (株式会社吉字屋本店代表取締役社長)
"	のぐち えいち 野口 英一	報道関係	学識経験者 (山梨放送・山梨日日新聞社社長)
"	かねまる やすのぶ 金丸 康信	報道関係	学識経験者 (テレビ山梨代表取締役社長)
"	つじむら かずと 辻村 和人	報道関係	学識経験者 (NHK甲府放送局局長)
"	むとう まさみ 武藤 正美	山梨県立美術館協力会代表	学識経験者 (山梨県立美術館協力会副会長)
"	ひびの りつこ 日比野 理津子	公募委員	家庭教育関係者
"	わたなべ やよい 渡辺 弥生	公募委員	家庭教育関係者
任命	のなか るみこ 野中 るみ子	山梨県公立小中学校長会代表	学校教育関係 (南アルプス市立櫛形西小学校校長)
"	さいき くにひこ 斉木 邦彦	山梨県高等学校長協会代表	学校教育関係 (県立甲府西高等学校校長)

○山梨県附属機関の設置に関する条例（抜粋）

（趣旨）

第一条 この条例は、法令又は他の条例に別に定めのあるものを除くほか、地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第百三十八条の四第三項に規定する附属機関に関し、必要な事項を定めるものとする。

（附属機関の設置及び担当事務）

第二条 知事の附属機関として、次に掲げる機関を設置する。

（略）

2 教育委員会の附属機関として、次に掲げる機関を設置する。

（略）

山梨県立美術館協議会

山梨県考古博物館協議会

山梨県地方産業教育審議会

山梨県文学館協議会

（組織）

第四条 附属機関は、別表第一、別表第二及び別表第三の委員の定数欄に掲げる数の委員で組織する。

2 委員は、別表第一、別表第二、別表第三及び別表第四の委員の要件欄に掲げる者のうちから、知事（教育委員会の附属機関にあつては、教育委員会。以下同じ。）が任命し、又は委嘱する。

3 委員の任期は、別表第一、別表第二、別表第三及び別表第四の委員の任期欄に掲げるとおりとする。（会長等）

第五条 附属機関に、規則で定めるところにより、会長又は委員長（以下「会長」と総称する。）及び副会長又は副委員長（以下「副会長」と総称する。）を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

3 会長は、会務を総理し、附属機関を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

5 副会長が置かれていない附属機関にあつては、会長に事故があるときは、あらかじめ会長の指名する委員が、その職務を代理する。

（会議）

第六条 附属機関の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は、規則で定める場合を除くほか、委員の二分の一以上が出席しなければ、開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（委任）

第八条 この条例に定めるもののほか、附属機関の担当事務、組織及び運営等に関し必要な事項は、規則で定める。

別表第一（第二条、第四条関係）

二 教育委員会の附属機関

附属機関	担当事務	委員の定数	委員の要件	委員の任期
山梨県立美術館協議会	博物館法(昭和二十六年法律第二百八十五号)第二十条第二項の規定による山梨県立美術館の運営に関する事項の調査審議及び意見の具申に関する事務	十五人以上	一 学校教育の関係者 二 社会教育の関係者 三 家庭教育の向上に資する活動を行う者 四 学識経験のある者	二年

○山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則（抜粋）

（趣旨）

第一条 この規則は、山梨県附属機関の設置に関する条例（昭和六十年山梨県条例第三号。以下「条例」という。）の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

（補欠委員の任期）

第三条 委員に欠員を生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（平六教委規則二・旧第二条線下）

（会長及び副会長）

第四条 条例第五条第一項の規定により、附属機関に会長及び副会長一人を置く。

（定足数の特例）

第五条 条例第六条第二項の規則で定める場合は、次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議について、同表の定足数欄に掲げる数の委員が出席しなければ開くことができない場合とする。

附属機関	定足数
山梨県高等学校入学者選抜制度審議会	過半数
山梨県へき地等教育振興審議会	過半数
山梨県立美術館協議会	過半数
山梨県考古博物館協議会	過半数
山梨県文学館協議会	過半数
山梨県地方産業教育審議会	過半数
山梨県スポーツ振興審議会	過半数

（意見の陳述）

第九条 関係職員は、会長の許可を得て、附属機関の会議に出席し、審議事項に関して意見を述べることができる。

（定例会及び臨時会）

第十二条 次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議は、定例会及び臨時会とし、定例会の開催回数は、同表の開催回数欄に掲げるとおりとする。

附属機関	開催回数
山梨県立美術館協議会	年二回
山梨県考古博物館協議会	年二回
山梨県文学館協議会	年二回

2 前項に規定する臨時会は、必要に応じて開催する。

（昭六一教委規則一・旧第十一条線下、平元教委規則五・一部改正）

（庶務）

第十三条 附属機関の庶務は、次の表の所属欄に掲げる所属において処理する。

附属機関	所属
山梨県図書館協議会	図書館
山梨県高等学校入学者選抜制度審議会	高校教育課
山梨県へき地等教育振興審議会	義務教育課
山梨県特別支援教育振興審議会	高校教育課
山梨県立美術館協議会	美術館
山梨県考古博物館協議会	考古博物館
山梨県文学館協議会	文学館
山梨県地方産業教育審議会	高校教育課
山梨県スポーツ振興審議会	スポーツ健康課

（昭六一教委規則一・旧第十二条線下・一部改正、昭六三教委規則七・平元教委規則五・平四教委規則三・平六教委規則二・平八教委規則四・平九教委規則八・平一九教委規則三・一部改正）

（委任）

第十四条 この規則に定めるもののほか、附属機関の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が当該附属機関に諮って定める。

○博物館法（抜粋）

（博物館協議会）

第二十条 公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第二十一条 博物館協議会の委員は、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。

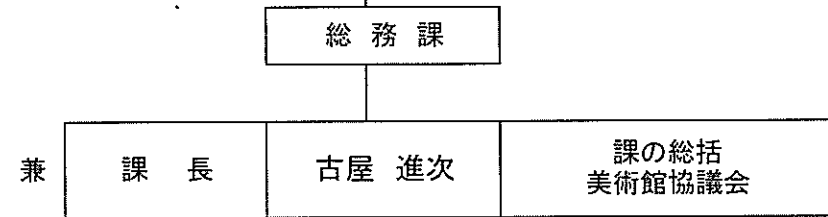
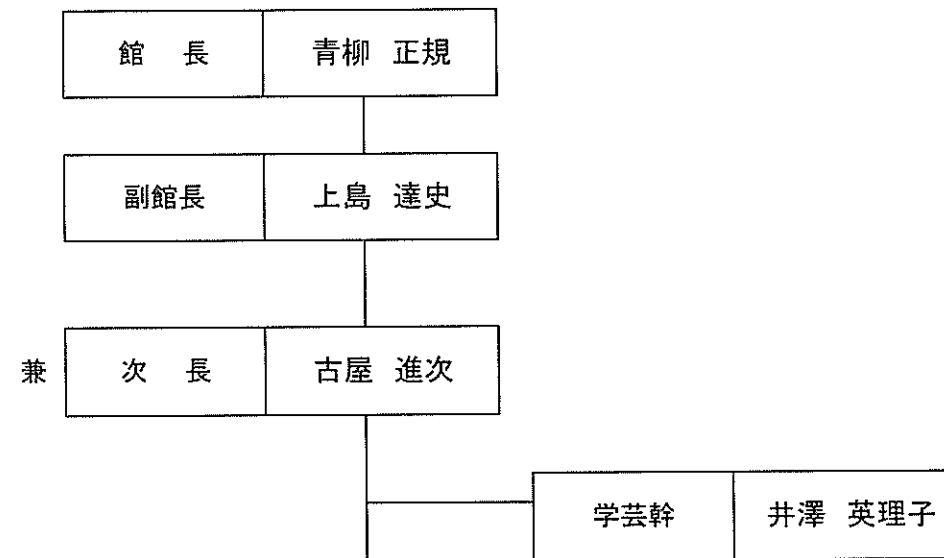
第二十二条 博物館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他博物館協議会に関し必要な事項は、当該博物館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

# 美術館組織図

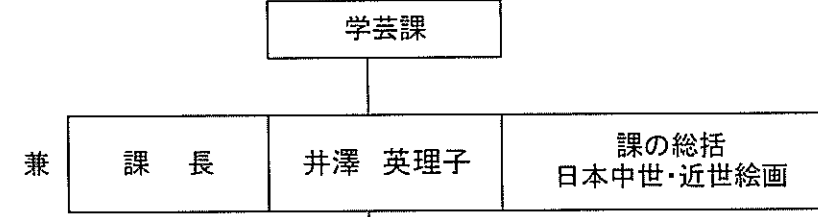
平成29年10月1日現在

所属名	県立美術館		
正規職員	非常勤嘱託職員	臨時職員	計
12 兼(1)	5		17 兼(1)

※次長は文学館勤務で、美術館と兼務



兼



兼

職名	氏名	主たる業務
リーダー 主幹	望月 博史	担当の総括 予算管理
主任	高山 慎之介	会計・経理 旅費・福利
非常勤 嘱託	小尾 祐子	職員給与等 共済組合、互助会

## 学芸担当

職名	氏名	主たる業務
リーダー 学芸員	平林 彰	担当の総括 日本近世・近代絵画
学芸員	太田 智子	西洋近代絵画、現代美術
学芸員	小坂井 玲	西洋近代絵画
学芸員	森川 もなみ	西洋・日本近代美術
学芸員	下東 佳那	日本現代美術・現代洋画
非常勤 嘱託	雨宮 千鶴	学芸補助
非常勤 嘱託	伊藤 茜	学芸事務

## 普及担当

職名	氏名	主たる業務
リーダー 学芸員	高野 早代子	担当の総括 県関係作家、保存
主査・ 教育主事	五味 一也	美術館教育
副主査・ 教育主事	百瀬 淳一	美術館教育
非常勤 嘱託	保坂 広光	協力員指導

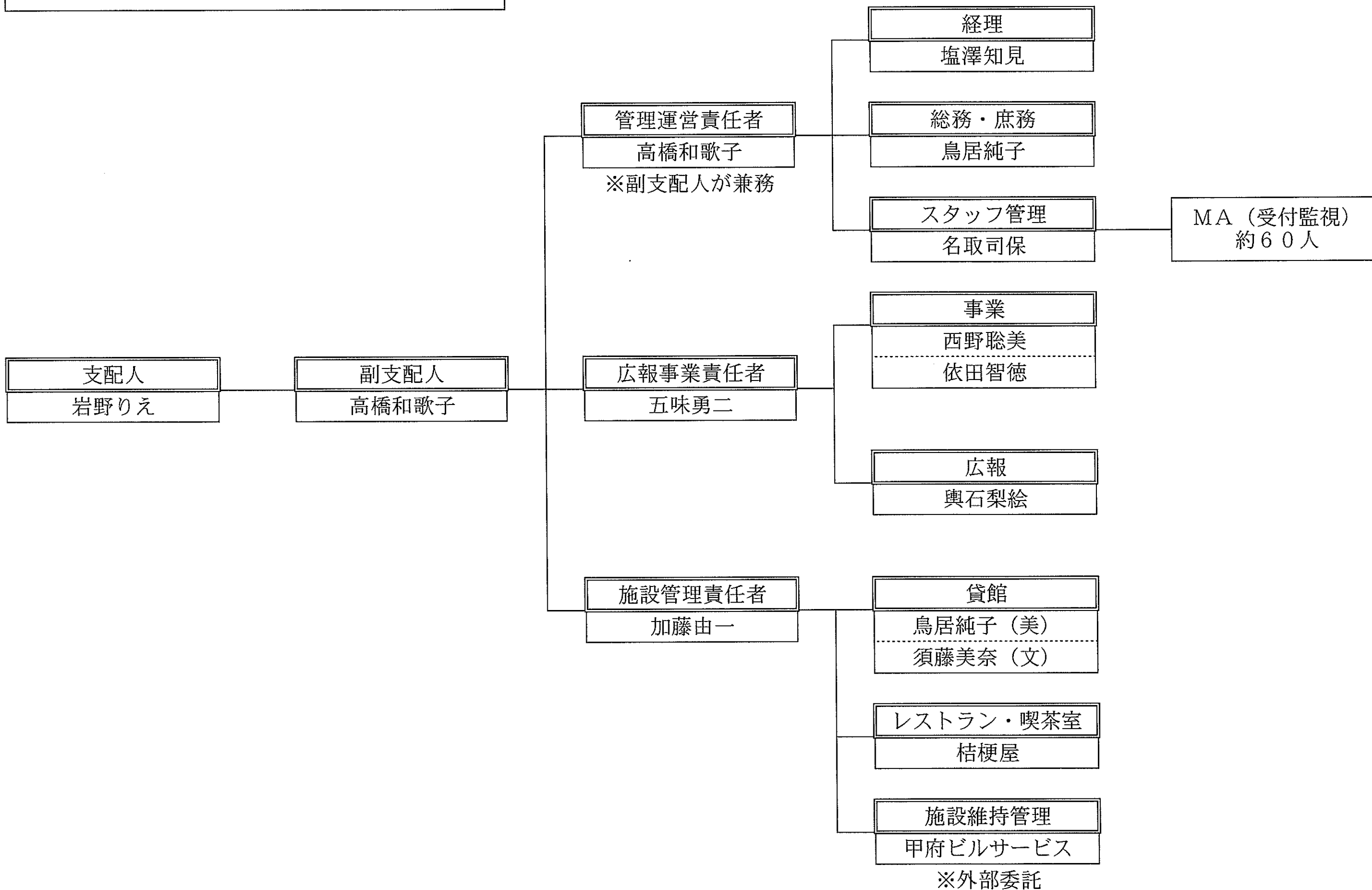
## 美術館協力会

職名	氏名	主たる業務
協力会 職員	小杉 佳子	協力会経理
協力会 職員	渡邊 弘美	協力会経理

※次長は文学館勤務で、美術館と兼務

平成29年度指定管理者  
組織体制（文学館と兼務）

平成29年4月1日現在



# 山梨県立美術館活動報告（概要） 平成 29 年度

## 美術館活動における長期目標

○県民の美術に関する知識・教養の向上を図り、県民文化の発展に寄与するため以下のような長期目標を掲げる。

【展示／見る】幅広いジャンルでの質の高い特別展示とともに「西洋美術」「山梨ゆかりの美術」「日本の近現代美術」などのコレクションを使った常設企画展示の一層の充実を図る。

【教育普及／学ぶ】生涯学習の進展や教育課程における総合学習の充実化にともない、より多様な学習機会の提供を行う。

【付加価値・魅力／憩う】本来の美術館機能に加え、さまざまな付加価値を充実させ、より魅力ある「憩いの場」の創造と提供を行う。

## 平成 29 年度前期の活動の状況

【展示／見る】・多様な来館者ニーズに応え、幅広いジャンルの特別展や魅力あるコレクション展を開催する。

### 〈コレクション展〉

・魅力的なコレクション展をめざし、テーマ性を打ち出した企画展示を年 4 回行う。

春季「春の訪れ」「読書の造形」「追悼 深沢幸雄」

夏季「夏の情景」「なぞなぞ美術館Ⅱ」「これな〜んだ？」

秋季「実りの秋」「食の静物画」「食をめぐる情景」「食べて生きる」「比喩としての食べ物」

・「ミレー館」の開設以降、集客を維持するための魅力を改めて県外に P R するための積極的な広報活動の実施

### 〈特別展〉

・バロックの巨匠たち ルーベンス、レンブラント、ベラスケスと栄光の時代

4月15日(土)～6月11日(日)

・フジフィルム・フォトコレクション「私の1枚」日本の写真史を飾った101人

7月1日(土)～8月20日(日)

・モーリス・ド・ヴラマンク展 絵画と言葉で紡ぐ人生

9月2日(土)～10月22日(日)

### 〈キュレーターズ・アイ〉

・三井ヤスシ展 5月30日(火)～7月17日(月・祝)

【教育普及／学ぶ】アートレクチャーや講座の充実を図り、より幅広い県民の参加を促進。

県民のニーズに対応した美術館教育プログラムの作成・提供に務め、世代別・習熟度別プログラムや高齢者、障がい者への実技講座やレクチャーなどの実施。

学校と連携して、児童生徒への鑑賞・実技指導を実施。また、学校教師への鑑賞教育・実技指導・美術教育に関する積極的な意見交換も行い連携を深めた。

美術館から職員が外に出て、様々な会場でのワークショップや授業、鑑賞研修会などを実施。

### 〈活動内容〉

・みんなでつくる美術館(みなび展) 「しっばい」は「せいこう」のもと ～Try! Try! Try!～

・キッズプログラム(小中高生対応) ・校外学習対応として展示室での鑑賞、実技体験及び職場体験活動

・学校への出前授業 ・アートボックスの貸し出し ・アートカードのレクチャー ・造形広場 ・創作教室

・教師のための鑑賞研究会 ・大人のための美術講座

・ことぶき勸学院への協力(総務課対応) ・ギャラリー・トーク ・映画会

・美術体験・実技講座(初心者・障がい者含む) ・県民ギャラリー利用者の創作活動 P R 支援

【付加価値・魅力／憩う・広報活動】〈魅力あふれる美術館をめざして〉

### 〈質の高いサービス提供〉

・美術館ボランティアのスキルアップをめざして研修・学習会を実施。

### 〈様々な付加価値の創造〉

・地元音楽家・団体や学校現場との協働によるロビーコンサートを毎週日曜日に開催。(S P S)

・レストランサービスの向上をめざして運営企業と情報交換・協議。

・ミュージアム甲斐 in 券並びに定期観覧券所持者への割引サービス。売店、レストラン。

・県外の来館者増を目的に、新聞(首都圏版)への広告の掲載。(S P S)

・芸術文化のまちづくりで N P O を支援＝貢川アートフェスタ後援

### 〈県・指定管理者・県民との円滑なリレーションシップ〉

・本美術館の特色・魅力を十分に伝えられる情報発信・積極的な広報とパブリシティの実施。

・展覧会事業を報道機関と共催、県民への情報提供の機会を大幅に増やすことができた。

・新たな集客に向け、アンケートによる調査などを積極的に取り入れ、県民ニーズの把握に努める。

### 〈キャッチコピー制作〉

・美術館のイメージアップとなり、周知や来館を促すような、中長期的視点によるキャッチコピーを制作中。

## 平成 29 年度後期の具体的活動予定と中期目標

1, 山梨の美術を再検証するとともに、郷土関係作家の新たな展覧会を企画立案する。

2, 様々なジャンルや時代・国の美術を紹介する特別展をバランス良く展開する。

3, アンケート調査などを取り入れ、県民ニーズ等の把握に積極的に取り組み集客力の向上を図る。

4, 広報活動の強化。

### 【展示／見る】

・開催趣旨と目標(集客、研究、人気もの etc)を明確にした企画展の開催と、リピーターとして何度も美術館に行きたくなるような魅力あるコレクション展示の創出を図る。

### 〈コレクション展〉

従来の常設展のイメージを一新した展示空間の創作に心がけ、テーマ展示や企画コーナーを設けるなど、新たな魅力ある展示を行う。

・ミレー館・テーマ展示室・萩原記念室を使った年 4 回の展示替えを実施。

・テーマ展示や新設コーナーを設け、特別展のようなタイトルを付けるなど、興味を持って鑑賞してもらえるような工夫や配慮し、積極的に広報する。(特にテーマ展示室)

・コレクション企画展「山梨県立美術館物語—40 年間のストーリー&ヒストリー」(仮称)

平成 30 年 1 月 2 日(火)～3 月 4 日(日)

### 〈特別展〉※別紙 H29 特別展概要参照

・狩野芳崖と四天王 近代日本画、もうひとつの水脈

11 月 3 日(金・祝)～12 月 17 日(日)

### 〈キュレーターズ・アイ〉

・上条暁隆展 10 月 31 日(火)～平成 30 年 1 月 14 日(日)

【教育普及／学ぶ】アートレクチャーや講座の充実を図り、より幅広い県民の参加を促進。

・アート・カードを導入した、新たな作品鑑賞の「見るヒント」「感じるヒント」の一助になる実践を紹介。

・県民ニーズに応じた美術館教育プログラムの作成・提供に務め、世代別・習熟度別プログラムや障がい者への実技講座なども実施していく。

・教育現場と連携して、年齢ごとの学びの場として会場を提供し、キャリア教育等にも活かしていく。

・学校と連携して、児童生徒への実技指導を実施。また、学校の教師への実技指導・美術教育に関する積極的な意見交換も行い連携を深める。

### 〈活動内容〉

「博学連携を中心とした学校・社会教育施設との連携強化」

・キッズプログラム(小中高生対応) ・映画会 ・職場体験授業 ・校外学習への対応(オリエンテーション、

展示室での鑑賞、実技体験) ・ギャラリートーク ・学校への出前授業 ・アートボックス貸出

・施設の貸出 ・創作教室 ・造形広場 ・みんなでつくる美術館(みなび) ・教師のための鑑賞研究会

・大人のための美術講座 ・美術体験・実技講座(初心者・障がい者含む) ・ギャラリー・トーク

・アート・カードのレクチャー及び貸出

「地域との連携強化」

・美術館周辺校との連携(新田小学校の総合学習の時間を利用したギャラリー・トークの実施)。

【付加価値・魅力／憩う・広報活動】美術館への好感度向上をめざして、さまざまな取り組みを実施。

・質の高いサービスを提供するため、研修の強化などを行い、引き続き美術館ボランティア(案内、解説、情報 etc.)のスキルアップに務める。

・様々な付加価値の創造に継続して取り組む。

・地元音楽家・団体、学校のコーラス部との協働による週末のロビーコンサートや小イベントを継続して実施。

・ミュージアムショップでの楽しい買い物に向けて、魅力ある新商品の開発等を実施。

・県民との円滑なリレーションシップを目指して、本美術館の特色・魅力をしっかりと情報発信。

・やまなしの文化情報ネットワークやノウハウを最大限活用した、積極的な広報とパブリシティの実施。

▶▶▶▶▶▶ これらの取り組みを着実に進めて、より多くの県民の来館に結びつける。

山梨県立美術館の観覧者数の推移

年度	開館日数	常設展	特別展・新収蔵品展等	観覧者数合計
S53	118	160,594	91,501	252,095
54	295	316,325	152,418	468,743
55	298	410,214	110,951	521,165
56	297	421,759	124,772	546,531
57	296	401,864	107,843	509,707
58	295	391,408	118,381	509,789
59	298	416,423	87,280	503,703
60	299	396,782	193,786	590,568
61	302	443,656	116,263	559,919
62	298	454,876	78,845	533,721
63	296	471,011	109,642	580,653
H1	304	408,088	71,341	479,429
2	293	409,354	69,818	479,172
3	300	379,707	162,035	541,742
4	290	359,582	155,457	515,039
5	287	320,179	97,028	417,207
6	278	270,067	79,467	349,534
7	300	262,845	71,246	334,091
8	289	276,556	86,910	363,466
9	293	202,358	53,780	256,138
10	281	266,846	167,521	434,367
11	298	176,533	89,962	266,495
12	300	149,708	84,963	234,671
13	301	122,857	65,484	188,341
14	301	166,783	131,560	298,343
15	288	90,783	43,766	134,549
16	298	115,874	83,408	199,282
17	301	100,777	50,203	150,980
18	309	96,898	35,385	132,283
19	309	99,823	64,421	164,244
20	307	112,410	85,669	198,079
21	309	117,250	57,803	175,053
22	310	98,986	61,123	160,109
23	310	103,181	84,090	187,271
24	311	120,650	67,736	188,386
25	306	97,569	59,204	156,773
26	308	137,316	112,138	249,454
27	307	97,675	103,380	201,055
28	306	80,474	68,718	149,192
計	11,486	9,526,041	3,655,298	13,181,339

平成29年度常設展観覧者数

月	開館日数	観覧者数
4	26	6,756
5	27	8,811
6	26	6,561
7	26	5,949
8	29	9,167
9		
10		
11		
12		
1		
2		
3		
計	134	37,244

平成28年度常設展観覧者数

月	開館日数	観覧者数
4	26	6,068
5	27	9,667
6	26	7,731
7	28	6,172
8	28	7,522
9	26	8,170
10	26	9,501
11	26	10,157
12	22	4,133
1	26	3,730
2	24	4,071
3	21	3,552
年度計	306	80,474
8月まで計	135	37,160

前年同期比 100.2%

特別展・新収蔵品展等（H29年8月まで）

展覧会名	開催日数	観覧者数
H28新収蔵品展	2	542
バロックの巨匠たち	51	19,677
フジフィルム「私の1枚」	46	11,642
ヴラマンク展	44	
狩野芳崖と四天王	40	
コレクション企画展	32	
H29新収蔵品展	12	
	227	31,861

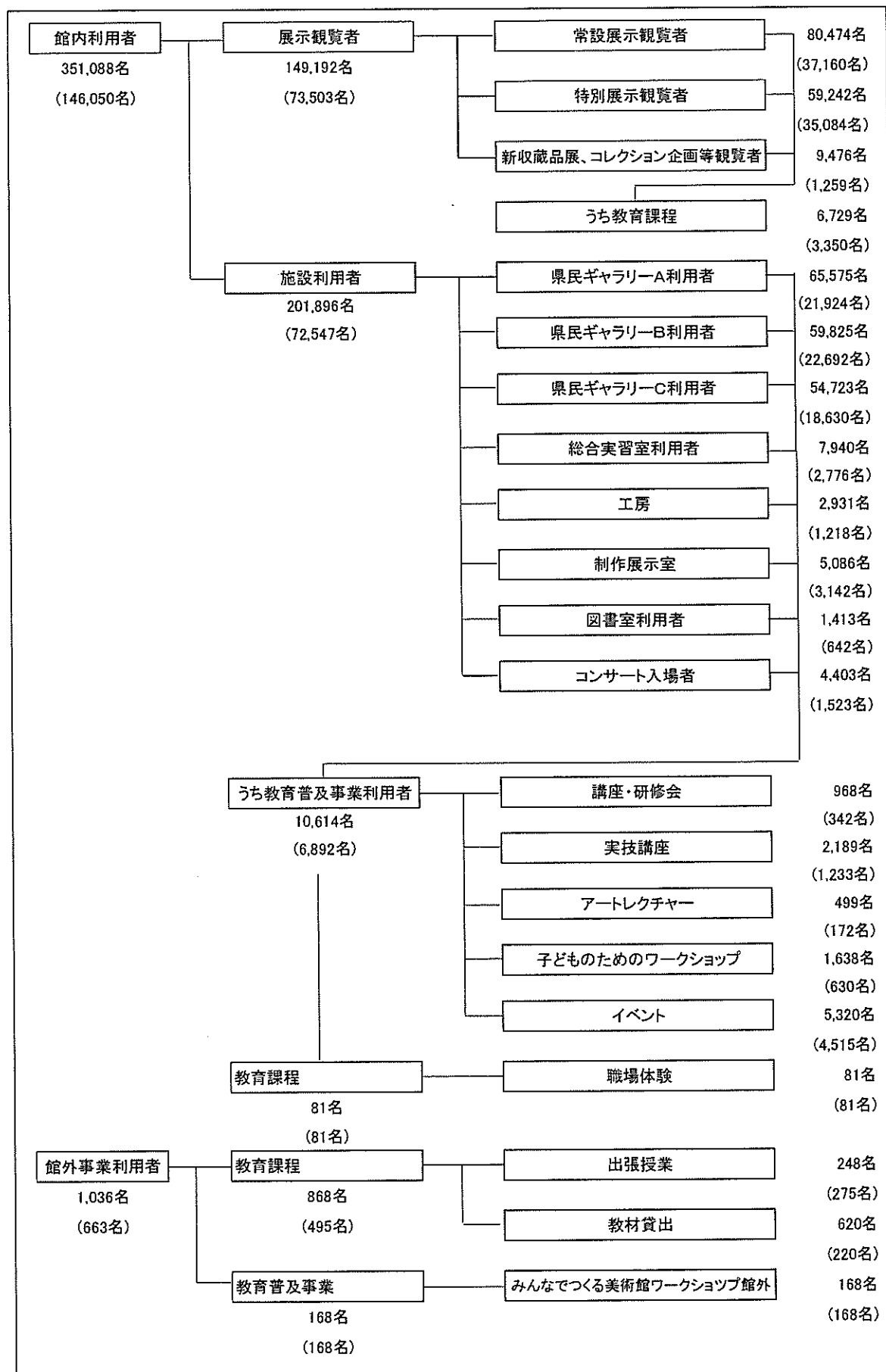
特別展・新収蔵品展等（H28年度）

展覧会名	開催日数	観覧者数
H27新収蔵品展	9	1,259
ミケランジェロ展	45	27,607
山梨の女性アーティスト展	53	7,477
国立美術館巡回展	24	11,470
フランスの風景展	44	12,688
コレクション企画展	32	6,054
H28新収蔵品展	12	2,163
	219	68,718

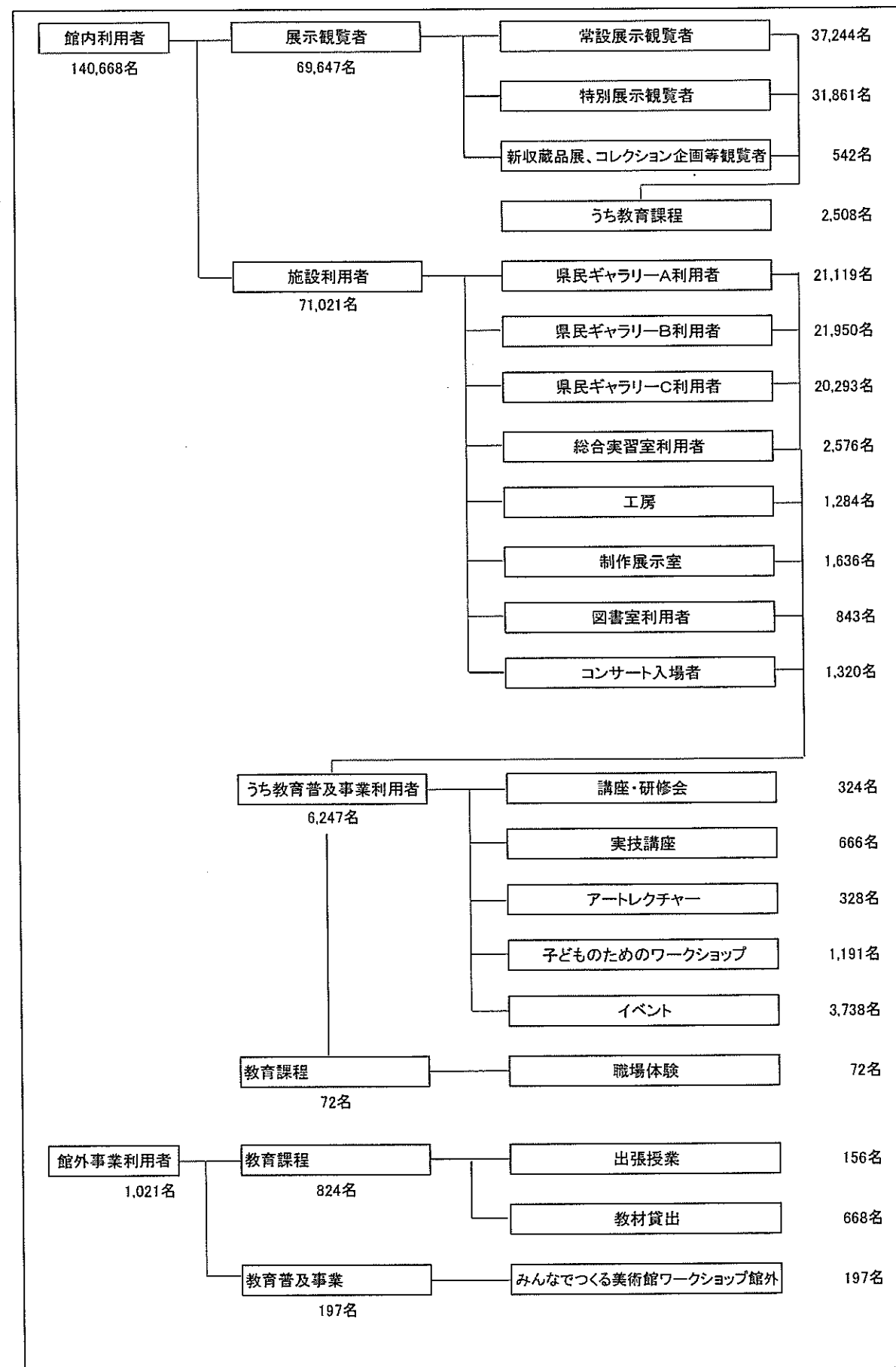


美術館における「利用者」の状況

平成28年度実績。( )は8月末現在



平成29年8月末現在



○美術館の利用者とは、美術館の施設、提供するサービスを利用した者および美術館の事業・活動に参加したすべての対象者をいいます。

平成28年度 特別展一覧

特別展名	期間	概要	観覧者数
山梨県立美術館新収蔵品展	3月26日(土) ~ 4月10日(日)	平成27年度に新たに収蔵した資料を中心に公開しました。	1,259人
ルネサンスの巨匠 ミケランジェロ展	4月23日(土) ~ 6月12日(日)	“神のごとき”芸術家と讃えられたミケランジェロ・ブオナローティ。レオナルド・ダ・ヴィンチとともにルネサンスの二大巨匠として君臨し、人類の宝ともいべき芸術を遺しました。《ピエタ》や《ダヴィデ》など、石の塊から造形を彫り出した彫刻家であり、システィーナ礼拝堂に《創世記》や《最後の審判》など、壮大な物語を描いた画家であり、《サン・ピエトロ大聖堂》、《メディチ家礼拝堂》の造営などを手がけた建築家でもありました。 ミケランジェロは西洋美術史上のあらゆる分野に影響を及ぼすと評されます。本展では、彼の創造の軌跡、制作過程を、彼の子孫のコレクションを引き継ぐカーサ・ブオナローティ財団所蔵の素描や建築設計図面、書簡など貴重な資料によってルネサンス期の最高峰の芸術を紹介しました。	27,607人
美し、やまなし、パワー！ 山梨の女性アーティストたち展	6月26日(日) ~ 8月21日(日)	明治時代の南画家・野口小蘋や、大正時代に女性初の二科会会友となった埴原久和代、戦後に県内の女性画家たちを牽引した佐野智子、新しいジャンルでは『エースをねらえ!』の漫画家・山本鈴美香など、山梨県には優れた女性アーティストが存在してきました。 本展では、山梨県にゆかりのある明治から現代に至るまでの約30名の女性アーティストの作品と歴史に焦点を当て、油彩や日本画など既に確立したジャンルの他にも、立体やインスタレーション、あるいはマンガやデザインといった現代において重要になってきている新しい表現による作品も展示し個性とパワーに満ちた作品を紹介しました。	7,477人
国立美術館巡回展 煌く名作たち	9月3日(土) ~ 10月10日(月)	国立美術館の所蔵作品を活用し、鑑賞機会の充実を図るとともに、美術の普及をもって地域文化の振興に資するために実施される「国立美術館巡回展」。今回は、京都国立近代美術館を中心とした国立美術館の所蔵する選りすぐりの作品を紹介しました。 絵画では、竹内栖鳳をはじめ、村上華岳、土田麦僊、甲斐庄楠音、上村松園ら近代京都画壇の作品を中心とした日本画と、岸田劉生、黒田清輝、藤島武二、安井曾太郎ら近代を代表する洋画家の作品。工芸では、富本憲吉、河井寛次郎、十五代樂吉左衛門らの陶芸から、志村ふくみらの染織、さらには漆工芸、竹工など、著名な美術家たちの名作が一堂に会しました。	11,470人
フランスの風景 樹をめぐる物語	10月22日(土) ~ 12月11日(日)	19世紀のフランスでは、産業化の進展に伴って失われていく自然に対する関心が高まり、風景画が人気を博しました。樹木は背景の構成要素として、そして時に中心的な主題として画家たちに想を与え、様々に絵画を彩ってきました。自然を観察し、写し出そうと努めたバルビゾン派、光や大気が見せる一瞬の表情を捉えた印象派、色彩や線描に象徴的な意味を含めた象徴主義を経て、画家たちはより自由な態度で、線描や色彩による絵画表現の探求に専心していきます。本展では、国内外の優品約110点を展覧し、樹木をテーマにフランス絵画の変遷をたどりました。	12,688人
コレクション企画展「没後100年 野口小蘋」	1月21日(土) ~ 2月26日(日)	冬のコレクション企画として、野口小蘋(1847~1917)の没後100年を記念して、県立美術館が38年かけて収集した作品全てと寄託作品を展示しました。中には、日の目を見ることなく収蔵庫に眠り続けた希少作品や、今回、新たに寄託された作品など、初紹介作品も多数並びます。さらには小蘋が実際に見て、学んだ師、日根対山をはじめとする先人画家や同時代画家たちの作品、さらには近年発見された資料を合わせてご覧いただきました。	6,054人
山梨県立美術館新収蔵品展	3月18日(土) ~ 4月2日(日)	平成28年度に新たに収蔵した資料を中心に公開しました。	2,163人

※「山梨県立美術館新収蔵品展」の観覧者数は会期全体の数ではなく、平成28年度の観覧者数のみを集計しています。

H29 (2017) 年度

名 称	バロックの巨匠たち ルーベンス、レンブラント、ベラス ケスと栄光の時代展	フジフィルム・フォトコレクション 「私の1枚」 日本の写真史を飾った101人	モーリス・ド・ヴラマンク展	狩野芳崖と四天王展
会期	2017年4月15日(土) ～6月11日(日)	2017年7月1日(土) ～8月20日(日)	2017年9月2日(土) ～10月22日(日)	2017年11月3日(金・祝) ～2016年12月17日(日)
展示内容	西洋美術の歴史のなかでも名だたる巨匠たちが登場したバロック期。写実的な描写と明暗法を特徴とするドラマティックなバロック絵画は、見る者の感情に訴えかけ、当時のカトリック教会においては聖書を視覚的に表現するための手段として重要な役割を果たした。ティツィアーノなどバロック様式に影響を与えた画家たちから、レンブラント、ルーベンスなどオランダとフランドルの画家たち、ベラスケスらスペインの画家たちなどが描き出した華麗なるバロックの世界を約50点で紹介する。	幕末に写真が渡来してから150年余り、日本では多くの優れた写真家が作品を残してきた。本展では特に重要な101人の写真家が撮影した代表作を高画質の銀塩プリントで日本写真史の軌跡を紹介する。黎明期の下岡蓮杖から、林忠彦、土門拳などが見せた多種多様な表現、今日現役で活動する写真家たちの作品など、日本写真史を語る上で欠かせない作品を展示する。また日下部金兵衛、岡田紅陽、白旗史朗など、山梨にゆかりのある作品も含み、日本写真史の流れを改めて見直す。	20世紀にフランスで活躍した画家、モーリス・ド・ヴラマンク(1876-1958)の作品について、雪景色、田園風景、村の通りを主題にした風景画や、花を描いた静物画など、ヴラマンクを代表する画風の作品を描き、独自の画風を追求したヴァル・ドワーズ、シャルトル周辺での制作活動期に焦点を当てて紹介する。また、本展では絵画作品のみならず、優れた文筆家として数々の名言を残した作家の魅力を多角的に展観する。	近代日本画の原点と称えらる《悲母観音》を描いた狩野芳崖の四天王と称される岡倉秋水、岡不崩、高屋肖哲、本多天城。本展は、彼らに初めて光を当て、知られざる画業を新出作品や未紹介資料等を通じて多角的に辿るとともに、近代日本画を牽引した横山大観、菱田春草らの作品もあわせて展観する。時代の要請によって変容し消えゆく狩野派の残光と、近代化を克服してきら星のごとく絵画史に燦然と輝く大家たちの代表作を鑑賞するまたとない機会となる。
画像				
キャプション	ガイド・レーニ《聖華族—エジプトへの逃避途上の休息》 ヨハネ・パウロ2世美術館蔵	木村伊兵衛 《秋田おばこ 秋田・大曲》 富士フィルム株式会社蔵	モーリス・ド・ヴラマンク 《サイロ》個人蔵	狩野芳崖《伏龍羅漢図》 福井県立美術館蔵

教育課程における入館者の状況 平成29年4月1日～8月31日

来館日 月 日	地域	校種	学年	対応	学校・団体	児童 生徒数	引率数	内容				解説	減免	備考(学習形態、体験内容など)	
								ミレ 常設	特別	職場	実技				
4 4	甲府	小	0	〇	舞鶴小	0	4	0	0	0	0	0	0	打ち合わせ	
4 4	甲府	小	0	〇	池田小	0	4	0	0	0	0	0	0	打ち合わせ	
4 5	甲府	小	0	〇	箕川小	0	4	0	0	0	0	0	0	打ち合わせ	
4 6	甲府	小	0	〇	石田小	0	4	0	0	0	0	0	0	打ち合わせ	
4 7	その他	他	0	0	都留文科大学	0	0	〇	〇	0	0	0	0	0	自主
4 13	南巨	中	0	0	増穂中	10	0	〇	〇	0	0	0	0	0	自主
4 20	北巨	中	0	0	高根中	6	0	〇	〇	0	0	0	0	0	自主
4 21	北都	中	0	0	丹波中	3	1	〇	〇	0	0	0	〇	0	自主
4 26	甲府	中	0	〇	甲府南中	0	1	0	0	0	0	0	0	0	打ち合わせ
4 26	南巨	中	0	0	市川中	66	8	〇	〇	0	0	〇	〇	0	解説
4 28	南巨	中	0	〇	六郷中	24	5	〇	〇	0	0	〇	〇	0	解説
5 9	北巨	中	0	0	長坂中	4	0	〇	〇	0	0	0	0	0	自主
5 9	北巨	中	0	0	明野中	4	0	〇	〇	0	0	0	0	0	自主
5 10	甲府	小	3	〇	箕川小	70	4	〇	〇	0	〇	〇	〇	0	解説+実技
5 11	南都	中	2	〇	西桂中	15	1	〇	〇	〇	〇	〇	〇	0	解説+見学
5 11	北巨	中	2	0	韮崎西中	12	0	〇	〇	0	0	0	0	0	自主
5 11	北巨	中	2	0	韮崎東中	9	0	〇	〇	0	0	0	0	0	自主
5 12	中巨	中	2	0	竜王北中	10	0	〇	〇	0	0	0	0	0	自主
5 12	北巨	中	2	0	小淵沢中	10	0	〇	〇	0	0	0	0	0	自主
5 12	甲府	小	2	〇	石田小	49	4	〇	〇	0	〇	〇	〇	0	解説+実技
5 12	中巨	中	2	0	白根御勅使中	24	4	〇	〇	0	0	0	0	0	自主
5 12	県外	高	1	0	普連土学園	126	7	〇	〇	0	0	0	0	0	自主
5 14	中巨	中	0	〇	押原中美術部	24	2	〇	〇	0	0	〇	〇	0	解説
5 16	県外	高	2	0	早稲田高等学院	84	4	〇	〇	0	0	0	0	0	自主
5 17	中巨	中	2	0	八田中	10	0	〇	〇	0	0	0	0	0	自主
5 17	中巨	中	2	0	双葉中	30	0	〇	〇	0	0	0	0	0	自主
5 17	県外	高	0	0	早稲田高等学院	84	5	〇	〇	0	0	0	0	0	自主
5 17	中巨	中	2	0	芦安中	1	0	〇	〇	0	0	0	0	0	自主
5 18	県外	他	0	0	山脇ジュエリーデザイン	38	3	〇	〇	0	0	0	0	0	自主
5 18	中巨	中	2	0	玉穂中	12	0	〇	〇	0	0	0	0	0	自主
5 18	甲府	小	1	0	池田小	84	6	〇	〇	0	〇	〇	〇	0	解説+実技
5 18	中巨	中	2	0	田舎中	8	0	〇	〇	0	0	0	0	0	自主
5 18	北都	中	2	0	上野原中	20	0	〇	〇	0	0	0	0	0	自主
5 19	中巨	中	2	0	敷島中	14	0	〇	〇	0	0	0	0	0	自主
5 19	北巨	中	2	0	泉中	12	0	〇	〇	0	0	0	0	0	自主
5 19	中巨	中	2	0	押原中	21	1	〇	〇	0	0	0	〇	0	自主

来館日 月 日	地域	校種	学年	対応	学校・団体	児童 生徒数	引率数	内容				解説	減免	備考(学習形態、体験内容など)	
								ミレ 常設	特別	職場	実技				
5 23	南都	中	2	0	東桂中	5	0	〇	〇	0	0	0	0	0	自主
5 23	中巨	中	2	0	若草中	24	0	〇	〇	0	0	0	〇	0	自主
5 24	中巨	中	2	0	白根巨摩中	5	0	〇	〇	0	0	0	〇	0	自主
5 26	県外	他	0	0	青山ファッションカレッジ	114	7	〇	〇	0	0	0	〇	0	自主
5 26	県外	小	0	0	湘南白百合学園小学校	0	3	〇	〇	0	0	0	〇	0	下見
5 26	北巨	中	2	0	武川中	20	4	〇	〇	0	0	〇	〇	0	解説
5 27	北巨	中	0	0	長坂中美術部	13	1	〇	〇	0	〇	〇	〇	0	解説+実技
5 27	中巨	中	0	0	楯形中美術部	13	1	〇	〇	0	0	〇	〇	0	解説
5 27	甲府	高	1	0	駿台美テ科	40	1	〇	〇	0	0	0	〇	0	自主
5 30	甲府	高	1	0	城西高校	21	3	〇	〇	0	0	〇	〇	0	解説
5 30	甲府	小	0	0	新田小ひまわりたんぼぼ	6	3	〇	〇	0	〇	〇	〇	0	解説+実技
5 31	甲府	小	3	0	舞鶴小	51	3	〇	〇	0	〇	〇	〇	0	解説+実技
6 1	中巨	中	0	0	子どもの村	18	1	〇	〇	0	0	〇	〇	0	解説
6 7	県外	高	1	0	女子美術大学附属高等学校	207	14	〇	〇	0	0	〇	〇	0	解説@講堂
6 9	甲府	高	0	0	甲斐清和高校通信制	55	2	〇	〇	0	0	〇	〇	0	解説@講堂
6 9	北巨	中	0	0	韮崎こすもす教室	6	4	〇	〇	0	0	〇	〇	0	解説
6 9	甲府	小	5	0	新田小	31	2	〇	〇	0	0	〇	〇	0	解説
6 10	県外	中	0	0	富士見中美術部	28	2	〇	〇	0	〇	〇	〇	0	解説+実技
6 13	北都	中	2	0	大月東中	5	0	〇	〇	0	0	〇	〇	0	解説
6 13	北都	中	2	0	大月東中	24	0	〇	〇	0	0	〇	〇	0	自主
6 24	北都	他	0	0	大月短期大学	62	3	〇	〇	0	0	〇	〇	0	解説@講堂
6 27	甲府	小	6	0	新田小	24	2	〇	〇	0	0	〇	〇	0	解説+ギャラリートーク指導
6 28	甲府	小	4	0	新田小	25	2	〇	〇	0	0	〇	〇	0	解説+実技
6 28	甲府	小	3	0	新田小	29	2	〇	〇	0	0	〇	〇	0	解説+実技
7 7	甲府	中	0	0	甲府市特別支援学級合同	49	26	〇	〇	0	0	〇	〇	0	解説+実技
7 11	甲府	小	1	0	新田小	29	2	〇	〇	0	0	〇	〇	0	解説+実技
7 11	甲府	小	2	0	新田小	13	2	〇	〇	0	0	〇	〇	0	解説+実技
7 8	県外	中	0	0	御殿場南中	22	2	〇	〇	0	0	0	〇	0	自主
7 19	その他	他	0	0	県立大学	3	0	〇	〇	0	0	0	0	0	自主
7 26	県外	中	0	0	広尾学園中	10	2	〇	〇	0	0	0	〇	0	自主
8 3	県外	中	0	0	駒ヶ根東中	41	2	〇	〇	0	〇	〇	〇	0	解説+実技
8 9	甲府	中	0	0	東中	20	1	〇	〇	0	〇	〇	〇	0	解説+実技
8 3	県外	他	0	0	東京家政大学付属女子中学高等学校	32	4	〇	〇	0	0	0	〇	0	自主
8 7	県外	中	0	0	沼津高等学校(中等部)	12	2	〇	〇	0	0	0	〇	0	自主
8 22	東八	中	0	0	石和中学校	13	1	〇	〇	0	0	0	〇	0	自主
8 22	県外	他	0	0	明治大学付属中学・高校	12	1	〇	〇	0	0	0	〇	0	自主
8 23	中巨	中	0	0	楯形中学校	20	2	〇	〇	0	0	0	〇	0	自主

教育課程における入館者数まとめ

◎平成28年4月1日～平成29年3月31日

	校数	生徒数	引率数
小学校	53	1638	178
中学校	66	1418	106
高校	49	2239	308
その他	23	994	120
計	191	6289	712

◎平成29年4月1日～8月31日

	校数	生徒数	引率数
小学校	16	411	51
中学校	43	697	74
高校	7	617	36
その他	7	261	18
計	73	1986	179

<平成29年度の予定>

協力：山梨学院短期大学保育科

\*\*\*\*\*

つくろう！あそぼう！造形広場

5月6日・6月17日・7月8日・8月5日

9月9日・10月14日・11月11日・12月9日

1月6日・2月10日・3月3日

すべて土曜日に開催

場所：ワークショップ室

時間：午後1：30～3：30

対象：小学生以下とその保護者

定員：先着100名程度（申込不要）

※開始時刻の10分前にはお集まりください※

\*\*\*\*\*

創作教室

12月23日（土・祝）・3月24日（土）

場所：ワークショップ室

時間：午後1：30～3：30

対象：小学生以上（低学年が参加する場合は保護者同伴）

定員：各回ごとに異なります（申込が必要）

\*\*\*\*\*

\*日にち、内容、時間など直前の変更もあります。

各回の詳細はホームページまたは直前の

チラシでご確認ください。

お問い合わせ

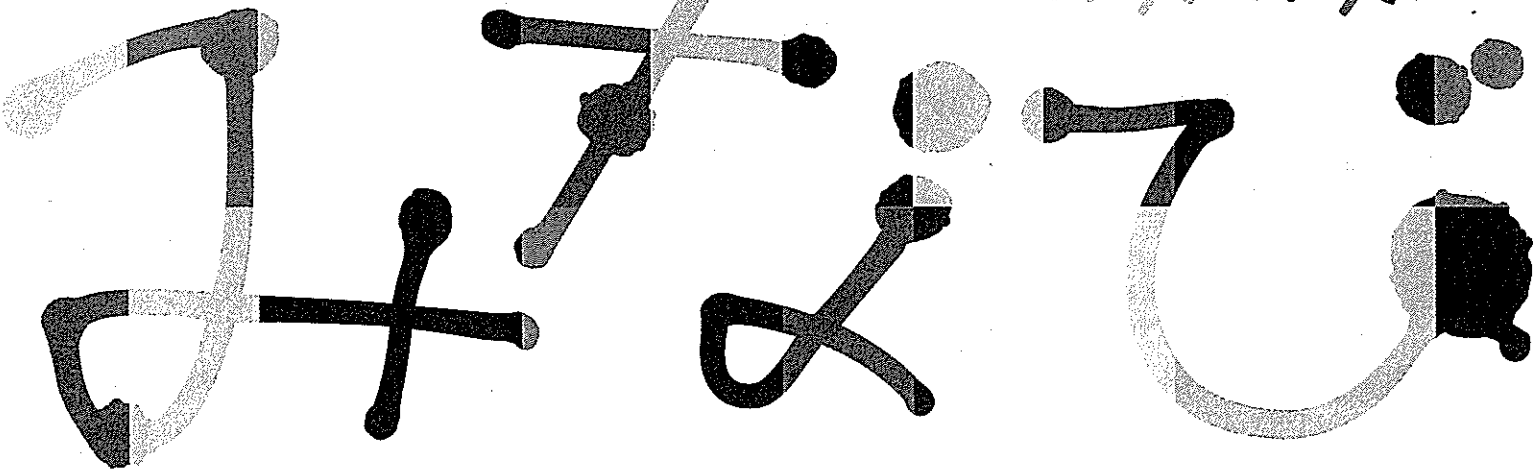
〒400-0065 山梨県甲府市貢川1-4-27

山梨県立美術館 造形広場・創作教室係

TEL 055-228-3322

みんな  
つくる  
美術館

「しっばい」は「せいこう」のもと  
Try! Try! Try!



みんなで作る美術館(みなび)は、子どもも大人も障がいをもった人も、誰でも参加できます。  
今年は8つのワークショップや展覧会、おまつりも企画しています。作品と体験で展覧会をいっぱいできるように、みんなで作らしましょう!

●ワークショップの詳細は裏面をご覧ください。

1 色や形を楽しもう!  
(障がい者のためのワークショップ)  
6/21(水)

2 トントンピュー!  
夏空に負けない  
いろんな青を染めよう  
7/15(土)

3 夏だ!祭りだ!  
ワッショイ!ワッショイ!  
7/25(火)

4 不思議図鑑  
パート2  
7/27(木)

5 輪っか!  
輪っか!  
みんなでつなげよう!  
7/29(土)

6 びでか☆フレンズ  
8/3(木)

7 パクパク人形劇場  
8/5(土)

8 みなび展  
7/29(土)~8/9(水)  
最終日は午後3:00まで、  
7/31(月)は休館

ボランテア  
大募集(随時募集中)  
★HPにて募集要項を  
ご覧ください。

わいわい夏祭り  
8/5(土)、8/6(日)

申込不要  
参加無料

- 主催 みんなで作る美術館実行委員会・山梨県立美術館
- 後援 山梨県造形教育連合/山梨県社会福祉協議会/NHK甲府放送局/山梨日日新聞社・山梨放送/テレビ山梨/山梨新報社/朝日新聞甲府総局/テレビ朝日甲府支局/産経新聞甲府支局/毎日新聞甲府支局/読売新聞甲府支局/日本ネットワークサービス/エフエム富士/エフエム甲府/株式会社エフエム八ヶ岳
- 協力 河口湖美術館/(有)ディスプレイ遠藤/(株)島田プロセス/第二寮/べさん堂/みにに画材店/人ねっこ・アートワーク/山梨学院大学/山梨学院短期大学/山梨大学教育学部芸術文化教育講座/株式会社SPSやまなし/サントリーフーズ/大石紬伝統工芸館/フジギラ株式会社/駿台甲府高等学校美術デザイン科

## 山梨県立美術館

Yamanashi Prefectural Museum of Art  
みんなで作る美術館(みなび)実行委員会 事務局  
〒400-0065 甲府市製川11-4-27  
山梨県立美術館 学芸課内  
Tel.055-228-3258 Fax.055-228-3418

申込不要  
参加無料

「しっばい」は「せいこう」のもと

トライ トライ トライ  
~Try! Try! Try!

① 6月21日(水)  
①午前 10:00~11:30  
②午後 1:30~3:00  
「色や形を楽しもう!」  
会場:県立美術館 ワークショップ室  
講師:県立美術館職員  
大きな紙をもくもくバリバリビリビリ変身させよう。何が生まれるか楽しみ!  
※県立美術館障がい者のための講座といっしょです。

② 7月15日(土)  
午後 1:30~4:00 ごろ  
「トントンピュー!  
夏空に負けないいろんな青を染めよう」  
会場:河口湖美術館 芝生広場  
講師:大金晶子さん(テキスタイル作家)  
藍の葉っぱは不思議です。直接たたいて しぼってとばして すって ぬって...。青空の下で綿と絹の風呂敷を青のバリエーションでいっぱい染めます。

③ 7月25日(火)  
午後 1:30~3:30  
「夏だ!祭りだ!  
ワッショイ!ワッショイ!」  
会場:県立美術館 ワークショップ室  
講師:古屋崇久さん(美術作家)  
夏といえば「夏祭り」  
みんなで作ります!  
☆8月6日(日)に練り歩こう!

④ 7月27日(木)  
午後 1:30~3:30  
「不思議図鑑パート2」  
会場:県立美術館 ワークショップ室  
芸術の森公園  
講師:県立美術館職員  
芸術の森公園で見つけたものからイメージを膨らませて描きましょう。  
空想の生き物?植物?みんなで不思議な図鑑を作りましょう。

⑤ 7月29日(土)  
午後 1:30~3:30  
「輪っか!輪っか!  
みんなでつなげよう!」  
会場:県立美術館 ワークショップ室  
講師:志村陽子さん(造形作家)  
小さな輪、大きな輪、自分だけの輪。  
いっぱい作って、みんなで作らなければならぬかな?

⑥ 8月3日(木)  
午前 10:00~午後 4:00  
「びでか☆フレンズ」  
★時間内いつ来てもOK!  
会場:県立美術館 ワークショップ室  
講師:駿台甲府高等学校  
美術デザイン科の学生  
高校生と「すき」をいっぱい表現して、楽しい思い出をつくらうZE☆  
※「びでか」は美術デザイン科の略

⑦ 8月5日(土)  
午後 1:30~3:30  
「パクパク人形劇場」  
会場:県立美術館 ワークショップ室  
講師:伊藤美輝先生(山梨学院短期大学教授)と保育科の学生  
小さな人形とミニ劇場を作り遊びます。  
※毎月行っている造形広場です。

⑧ 8月7日(月)  
午後 1:30~3:30  
「ピノキオごっこで遊ぼう!」  
会場:県立美術館 講堂  
講師:鈴木つなさん(ダンサー)  
木の人形のピノキオを人間みたいに動かすにはどうしたらいいんだ?みんなの身体を使って、大実験!楽しく身体を動かしちゃおう!

⑨ 8月6日(日)  
午後 1:30~3:30  
「ピノキオごっこで遊ぼう!」  
会場:県立美術館 講堂  
講師:鈴木つなさん(ダンサー)  
木の人形のピノキオを人間みたいに動かすにはどうしたらいいんだ?みんなの身体を使って、大実験!楽しく身体を動かしちゃおう!

## みなび展 県立美術館県民ギャラリーC、他

入場無料

7月29日(土)~8月9日(水) 7月31日(月)は休館  
午前9:00~午後5:00(最終日は午後3:00まで)

- 上記のワークショップの作品や、ワークショップの様子(ビデオや写真)を展示しています。
- みなび展会期中は毎日ミニワークショップを行います。お楽しみに!
- 展示した作品は、8月9日(水)午後3:00に展示場所で返却します。取りにこられない方は、後日、美術館へお越しください。作品は9月中旬まで保管しています。



# 山梨県立美術館 美術体験・実技講座

様々な美術表現を体験しながら、美術作品の鑑賞の糸口を見つけてみませんか。初めて挑戦される方のための初心者コース、障がい者のための講座、技術を深めてみたい方には実技講座を開設します。

No.	講座名/講師	内容・期間(日時)	申込期間
1	オープン・アトリエ① 前期 後期	版画や油彩、日本画などを専門的に制作している方に制作の場所を提供します。 期間：4月1日(土)～4月29日(土) 午前9:00～午後4:30 期間：5月30日(火)～6月16日(金) 午前9:00～午後4:30  *作家による指導はありませんが、版画制作者へは指導員が初心者の相談にのります。版画制作者はインク、薬品等の共用品代が必要になります。別途お知らせします。また後期は、銅版画講座直後のため銅版画を完成させるための利用が多数見込まれます。油彩等制作の方は制作場所が狭くなることをあらかじめご了承ください。	3月23日～4月10日  5月19日～28日
2	銅版画初心者コース 美術館職員	銅版画に触れ凹版を理解するための初心者講座です。ドライポイント技法で制作します。この初心者コース受講者でNo.4の(銅版画)講座へ進まれる方はこの日にお申し込みください。 講座日：4月30日(日) 午前10:00～午後3:30 材料費600円	4月4日～13日
3	立体造形 作家：小林泰彦	スチレンボードを素材として立体作品を制作します。2日間参加できる方を対象とします。 作家指導日：5月3日(水・祝)・5月4日(木・祝) 午前10:00～午後4:00 材料費1,300円	4月4日～13日
4	銅版画 作家：齊藤武士	本格的な銅版画に挑戦します。(初心者は初心者コース受講者のみ対象です。)作家指導日4回参加できる方を対象とします。 期間：5月14日(日)～5月28日(日) 作家指導日：5月14日(日)・20日(土)・21日(日)・28日(日) 午前10:00～午後4:00 *材料購入希望者は4月30日(日)午後3:30～工房にて注文を受け付けます。	4月4日～13日
5	障がい者のための講座 色や形を楽しもう！ 美術館職員	★[みなび(みんなで作る美術館)]のワークショップの1つです。 講座日：6月21日(水)①午前10:00～11:30 ②午後1:30～3:00 上記の①②から希望の時間をお選びください。 ★保育園、幼稚園、特別支援学級、学校など団体で参加できます。★この講座は、申し込みの必要はありませんが特別に配慮の必要な障がいをお持ちの方や、施設、園、学校など団体で参加される場合のみ事前に参加人数をご連絡ください。	団体参加の場合のみ事前にお申し込みください。
6	オープン・アトリエ② 前期 後期	版画や油彩、日本画などを専門的に制作している方に制作の場所を提供します。 期間：8月29日(火)～9月15日(金) 午前9:00～午後4:30 (但し9月3日(日)は除く) 期間：10月3日(火)～10月13日(金) 午前9:00～午後4:30  *作家による指導はありませんが、版画制作者へは指導員が初心者の相談にのります。版画制作者はインク、薬品等の共用品代が必要になります。別途お知らせします。また後期は、リトグラフ講座直後のためリトグラフを完成させるための利用が多数見込まれます。油彩等制作の方は制作場所が狭くなることをあらかじめご了承ください。	8月21日～28日  後期のみ参加される方は、9月23日～10月1日
7	リトグラフ 初心者コース 美術館職員	リトグラフに触れ平版を理解するための初心者講座です。この初心者コース受講者でNo.8の(リトグラフ)講座へ進まれる方はこの日にお申し込みください。 講座日：9月3日(日) 午前10:00～午後3:30 材料費約800円 リトグラフデモンストレーション：柏原恵美(作家)	8月5日～12日
8	リトグラフ 作家：遠藤竜太	リトグラフで自分なりの作品を創ってみませんか。作家指導日4回参加できる方を対象とします。(初心者は初心者コース受講者のみ対象です。) 期間：9月17日(日)～10月1日(日) 作家指導日：9月17日(日)・23日(土・祝)・24日(日)・10月1日(日) 午前10:00～午後4:00 *材料購入希望者は9月3日(日)午後3:30～工房にて注文を受け付けます。	8月5日～12日
9	油彩画 作家：齊藤静輝	作家の制作に対する考えをうかがいながら、技法の指導を受け制作します。作家指導日4回参加できる方を対象とします。 期間：10月15日(日)～11月5日(日) 作家指導日：10月15日(日)・22日(日)・29日(日)・11月5日(日) 午前10:00～午後4:00	9月16日～23日

10	日本画初心者コース 作家：目黒祥元	日本画はどのような材料を使って描くのでしょうか。小品を描きます。この初心者コース受講者でNo.11の(日本画)講座へ進まれる方はこの日にお申し込みください。 作家指導日：11月19日(日) 午前10:00～午後4:00 材料費約500円	10月28日～11月4日
11	日本画 作家：目黒祥元	日本画制作経験があり、作家指導日4回参加できる方を対象とします。(初心者は初心者コース受講者のみ対象です。) 期間：11月26日(日)～12月10日(日) 作家指導日：11月26日(日)・12月2日(土)・3日(日)・10日(日) 午前10:00～午後4:00 *材料購入希望者は11月19日(日)午後3:30～工房にて注文を受け付けます。	10月28日～11月4日
12	イングレーヴィング基礎 作家：尾崎ユタカ	腐食しない銅版画。ピュラン(彫刻刀)の使い方を学び小さな作品を制作します。2日間参加できる方を対象とします。また、準備していただく物の説明会を12月9日(土)10時から行います。 作家指導日：1月7日(日)・14日(日) 午前10:00～午後4:00 ※9日(火)～13日(土)は工房にて制作可	11月25日～12月2日
13	オープン・アトリエ③	版画や油彩、日本画などを専門的に制作している方に制作の場所を提供します。 期間：1月16日(火)～2月9日(金) 午前9:00～午後4:30 *作家による指導はありませんが、版画制作者へは指導員が初心者の相談にのります。版画制作者はインク、薬品等の共用品代が必要になります。別途お知らせします。	1月6日～1月14日
14	障がい者のための講座 色や形を楽しもう！② 美術館職員・他	色々な形と色を使って遊んでみましょう。 講座日：2月28日(水)①午前10:00～11:30 ②午後1:30～3:00 上記の①②から希望の時間をお選びください。 ★保育園、幼稚園、特別支援学級、学校など団体で参加できます。★この講座は、申し込みの必要はありませんが特別に配慮の必要な障がいをお持ちの方や、施設、園、学校など団体で参加される場合のみ事前に参加人数をご連絡ください。	団体参加の場合のみ事前にご連絡ください。

### 注意事項

- ★対象は中学生以上、定員は約20名。初めて講座を受けられる方が優先です。
- 初めての方が多数の場合は、申込期間内に受け付けた方から抽選させていただきます。
- ★基本的に講座期間中は休館日を除いて、毎日午前9:30から午後4:30まで自主制作することが出来ます。
- ★受講料は無料です。ただし、別途材料費を必要とする講座もあります。
- ★必要な用具・材料は通知(返信はがき)をご覧ください。
- ★講座終了日には大掃除がありますのでご協力ください。

### 申し込み方法

往復はがきでお申し込みください。  
往信面に ①講座名 ②〒・住所 ③氏名・年齢(学生の場合は学校名・学年)  
④電話番号(FAX番号も) ⑤経験の有無を記入してください。  
返信面には申込者の〒・住所・氏名を必ず記入してください。  
※申し込まれた方の個人情報は、本事業のみを目的とし、当館で適切に管理します。

### 申し込み先

山梨県立美術館「美術体験・実技講座」係  
〒400-0065 甲府市貢川1-4-27  
Tel 055-228-3322(代表) Fax 055-228-3418(学芸課直通)

# 平成 29 年度 キッズ・プログラム

～ 特別展を中心とした、小・中・高校生が楽しめる内容のプログラムです ～

プログラム名	開催日時	イベント内容 (□は特別展名)	対象	申込期間
こども美術館① 「ようこそ、 バロック劇場へ」 	5月13日(土) ①午前10:00～11:30 ②午後1:30～3:00	<b>バロックの巨匠たち</b> ルーベンス、レンブラント、 ペラスケスと栄光の時代  絵の中の人物になりきったりして、 展覧会を楽しく鑑賞しましょう。	小学生 (小学1～3年生 は保護者同伴)	4月13日 ～ 5月10日
夏の中高生 ワークショップ 「カシャ」 フィルムから 写真を現像しよう!	7月9日(日) 午後1:30～	フジフィルム・フォトコレクション <b>「私の1枚」</b> 日本の写真史を飾った101人  フィルムカメラで撮影して、写真 の現像を実際に体験 します。 	中学生 ～ 高校生	6月9日 ～ 7月2日
こども美術館② 夏休みスペシャル版 「手彩色で 絵葉書を作ろう」	7月23日(日) ①午前10:00～11:30 ②午後1:30～3:00	フジフィルム・フォトコレクション <b>「私の1枚」</b> 日本の写真史を飾った101人  明治時代の「カラー写真」の 風合いに挑戦します。	小学生～高校生 (小学1～3年生 は保護者同伴)	6月23日 ～ 7月16日
こども美術館③ 「タイトル未定」	9月30日(土) ①午前10:00～11:30 ②午後1:30～3:00	<b>モーリス・ド・ヴラマンク展(仮)</b>  ヴラマンクについて美術館職員と 一緒に体験・鑑賞します。	小学生 (小学1～3年生 は保護者同伴)	8月30日 ～ 9月27日
「家族で 美術館を楽しむ日」 	11月3日 (火・祝) ①午前10:00～11:30 ②午後1:30～3:00	<b>11月3日は</b> <b>山梨県立美術館の誕生日!</b>  ミレーの作品を鑑賞したり、体験 活動を通じて、家族と一緒に作 品を楽しみましょう。 	小学生 と その家族	10月3日 ～ 10月31日

プログラム名	開催日時	イベント内容 (□は特別展名)	対象	申込期間
こども美術館④ 「タイトル未定」	11月23日 (木・祝) ①午前10:00～11:30 ②午後1:30～3:00	<b>狩野芳崖と四天王(仮)</b>  狩野芳崖に注目しながら美術館 職員と一緒に体験・鑑賞します。	小学生 (小学1～3年生 は保護者同伴)	10月22日 ～ 11月19日
「美術館を 探検しよう」	2月3日(土) ①午前10:00～11:30 ②午後1:30～3:00	<b>バックヤード見学</b>  美術館職員と一緒に美術館の 裏側を探検しよう! 	小学生 (高学年) ～ 高校生	1月3日 ～ 1月31日
こども美術館⑤ 「タイトル未定」 	2月17日(土) ①午前10:00～11:30 ②午後1:30～3:00	<b>コレクション企画展(仮)</b>  作品や作家について学びながら、 楽しく鑑賞します。	小学生 (小学1～3年生 は保護者同伴)	1月17日 ～ 2月14日

※「こども美術館」は鑑賞イベントです

プログラムの内容・日程は予告なく変更になることがあります。

詳細は最新の館内チラシでご確認ください。

\*各プログラムは申し込みが必要です。対象学年をご確認の上、お申し込みください\*

**申し込み方法：電話またはFAXでお申し込みください。**

①希望コース名・②参加者全員の氏名(ふりがな)・③学年・④電話番号  
(FAXがある方はFAX番号)をお知らせください。

(申し込まれた方の個人情報、本事業のみを利用目的とし、当館で適切に管理します。)

問い合わせ・申し込み先

**山梨県立美術館「キッズ・プログラム」係**

Tel. 055-228-3322 Fax. 055-228-3324

(電話受付時間：開館日9:00～17:00)



ヴラマンク展 絵画と言葉で紡ぐ人生

# 「かいたひとのきもち みるひとのきもち」

ヴラマンク展について、体験活動をおしながら、学芸員と一緒に楽しく鑑賞しよう。

**9月30日(土)** ①午前 10:00 ~ 11:30  
②午後 1:30 ~ 3:00

※開始 10 分前までにお集まりください※

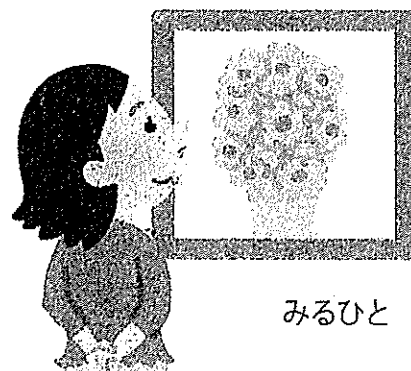
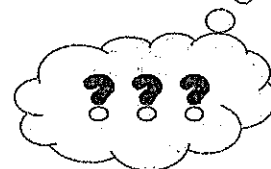
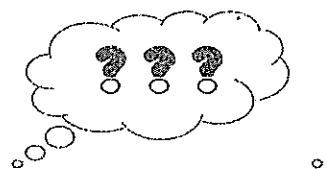
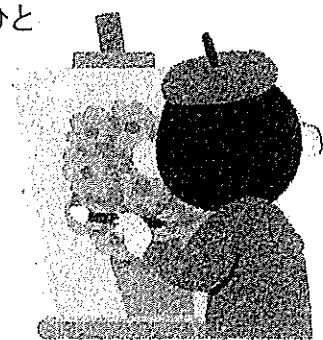
会 場：ワークショップ室

対 象：小学生（1～3年生は保護者同伴）

定 員：保護者を含めて各回 20 名程度

申込期間：8月30日～9月27日

かいたひと



みるひと

**申し込み方法：電話またはFAXでお申し込みください**

希望時間・参加者全員の氏名（ふりがな）・学年・電話番号（FAXがある方はFAX番号）をお知らせください。（申し込まれた方の個人情報は、本事業のみを利用目的とし、当館で適切に管理します。）

問い合わせ・申し込み先：山梨県立美術館「こども美術館」係

Tel. 055-228-3322 Fax. 055-228-3324

# 平成29年度 上半期美術館協議会

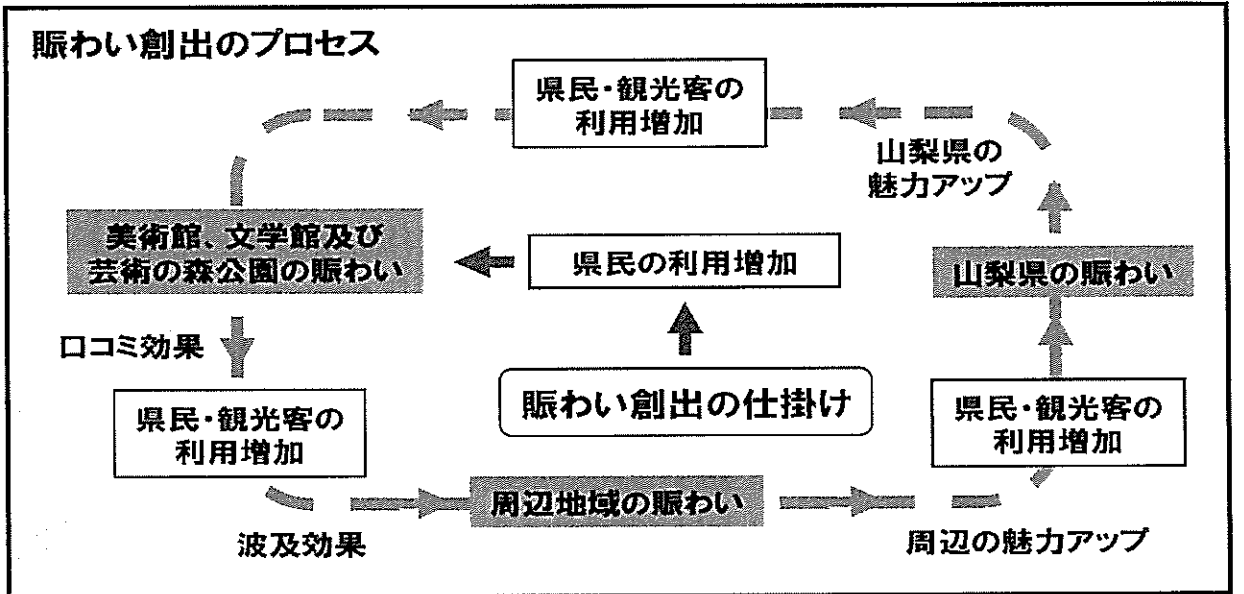
山梨県立美術館指定管理者  
株式会社SPSやまなし

## 目次

1. 2期目の指定管理期間における目指す姿
2. 賑わいの創出
  - ・ 展覧会観覧誘致のための広報活動
  - ・ 関係各所との連携
  - ・ 広報イベントの開催
3. ホスピタリティデザインの構築
  - ・ 研修及び館内避難訓練
4. 下半期に予定している活動

## 美術館、文学館及び芸術の森公園が目指す姿

- 県民が日常的に活用する施設であり、県民の誇りでもある施設
- 県内の賑わいを創出する旗艦として機能する施設



## 指定管理者活動トピックス

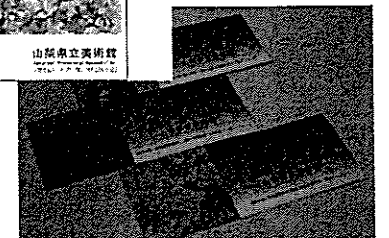
### 【2-1】展覧会観覧誘致のための広報活動

コレクション企画展「没後100年 野口小蘋」  
2017年1月21日(土)～2月26日(日)

例年来館者が伸び悩む時期であるが、新聞を中心にメディアの露出拡大を狙い広報活動を行なった。また、作品の繊細さが伝わるカラー広告の実施に注力。朝日新聞(全国版)では作品がとりあげられ、県外からの観覧者も誘致することができた。



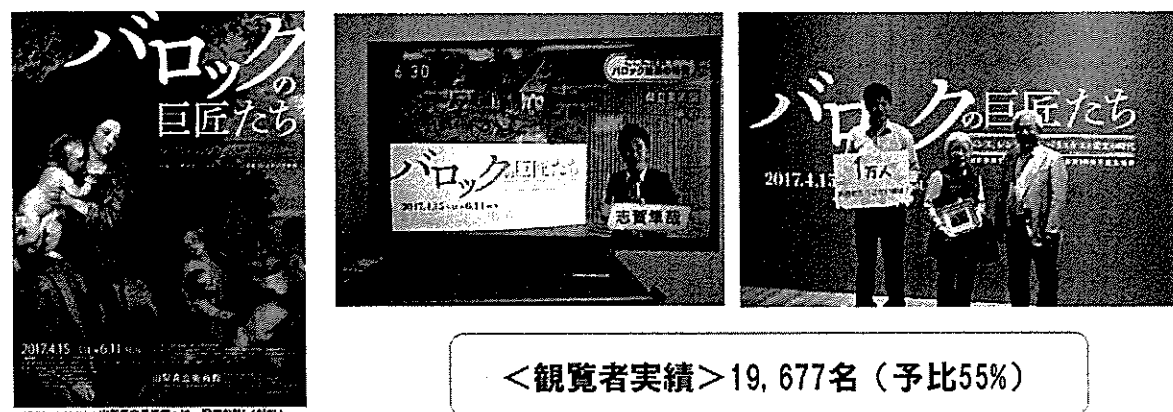
<観覧者実績> 6,673名 (予比102%)



指定管理者活動トピックス  
【2-2】 展覧会観覧誘致のための広報活動

特別展「バロックの巨匠たち」  
2017年4月15日(土)～6月11日(日)

GW期間中の展覧会であり、また、高い観覧者目標達成であったため、集客が期待できる交通系広告を主軸に広報活動を行った。身延線・東海道線の主要21駅でのポスター掲示、中刷り広告400車両への協力を獲得。WEB広告への掲載や八王子駅へのポスター掲示なども実施している。その他、テレビ放映(NHK)への取材依頼、新聞掲載等と手を打つも目標未達となった。

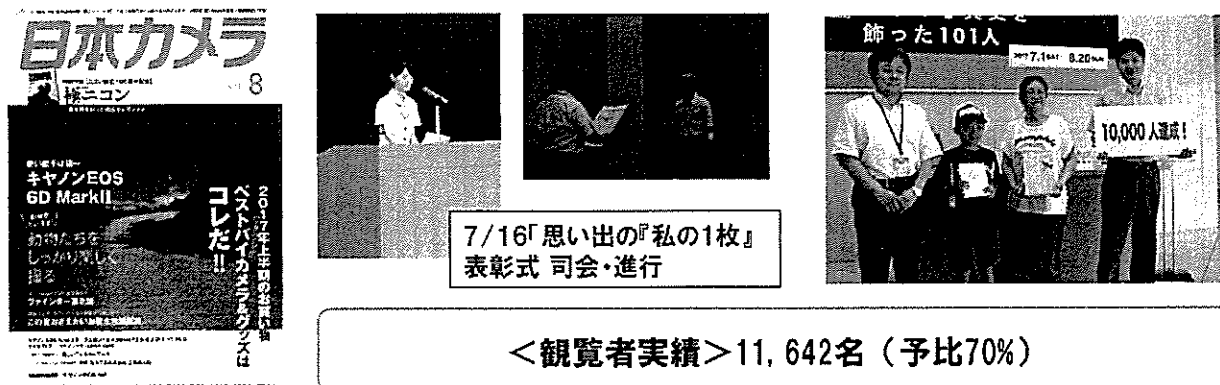


<観覧者実績> 19,677名 (予比55%)

指定管理者活動トピックス  
【2-3】 展覧会来館誘致のための広報活動

特別展「フジフィルム・フォトコレクション」  
『私の一枚』日本の写真史を飾った101人  
2017年7月1日(土)～8月20日(日)

通常の美術展とは客層が異なることを予想し、全国誌のカメラ雑誌等への広告を掲載。県内のカメラ店全店にチラシとポスターを送付するなど、従来とは異なる広報展活動を行った。共催(山梨放送)の枠を超えて、NHKに取材依頼を行い、ニュース枠での放送に繋げることができたが、観覧者数11,642人で目標の16,680名には到達しなかった。



7/16「思い出の『私の1枚』」表彰式 司会・進行

<観覧者実績> 11,642名 (予比70%)

指定管理者活動トピックス  
【2-4】 関係各所との連携

広報活動 旅行会社への団体旅行誘致のための働きかけ

美術館・文学館への旅行会社への広報活動を実施。大手旅行社の企画担当者への企画組み込みを依頼した。美術館コレクション展を中心に都内からのツアー客の呼び込みを狙う。

3月訪問先・・・3社 JTB・はとバス・三越伊勢丹旅行  
8月訪問先・・・4社 JR東日本・阪神交通社・近畿日本ツーリスト・日本旅行

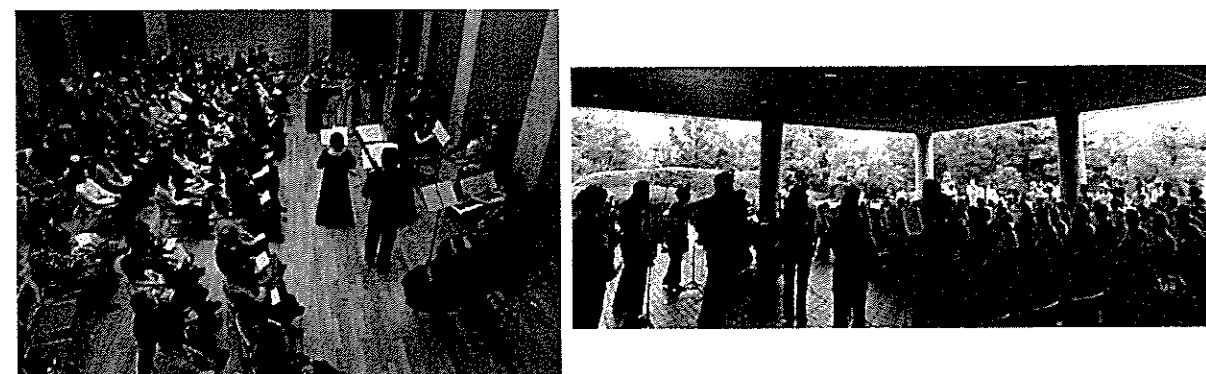


<成果実績> 『三越伊勢丹バス旅クラブ』ツアー  
催行日：2017年7月6日、7月11日、7月13日、7月17日  
参加人数：計74名 (添乗員含む)

指定管理者活動トピックス  
【2-5】 広報イベントの開催

美術館ニューイヤーコンサート(1/15)  
特別展記念コンサート(4/30、7/1)

山梨交響楽団との連携で34年目を迎えた「ニューイヤーコンサート」は、今年も多くのお客様をお迎えした。選曲もクラシックだけでなくゲーム「ドラゴンクエスト」のBGMなど親しみやすい楽曲を取り入れ幅広いお客様に楽しんで頂いた。また、7月の特別展記念コンサートは、より目を惹くピロティエへ場所を移して実施。通行中の方にも足を止めていただけた。

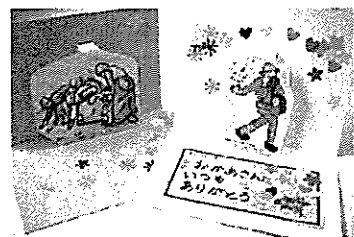


(1/15) ニューイヤーコンサート 117名

(7/1)『私の1枚』特別展 約160名

## 指定管理者活動トピックス 【2-6】広報イベントの開催

4月29日(土・祝)～5月7日(日)の大型連休中に美術館・文学館・芸術の森公園でイベントを開催。来館が少ないファミリー層や若年層をターゲットとし、施設の魅力発信とともに観覧者増を狙った。内容は好評だったが、目標参加人数に達しなかったイベントもあり、県内各所の同時期イベント(競合)対策など、次年度に生かしていく。(公園イベント参加人数 約1,600名)



<美術館>  
・ぬり絵 653名  
・飛び出すカード作り 252名  
・アートツアー 128名



【芸術の森公園】  
・飲食店ブース  
・レトロバス展示  
・ミニバス運行

## 指定管理者活動トピックス 【2-8】広報イベントの開催

### 春季芸術の森公園ツアー(4/1～6/11)

特別展期間中の土日・祝日に定期的実施することにより、美術館の名物企画としての認知度を上げてきたツアーであるが、今季はコースを一新。「近代彫刻の3巨匠(ロダン、ブールデル、マイヨール)」の作品を中心にご紹介した。彫刻や公園の魅力をつらやまして発信することで、美術館のファンづくりにつなげていく。



実施回数:計48回 320名



5/28 外国人向けツアー 30名

## 指定管理者活動トピックス 【2-7】広報イベントの開催

行楽シーズンのお客様誘致・ミレー作品の所蔵館としての更なる知名度向上を目指し、館外での広報活動を積極的に実施。昨年続く「イオンモール甲府昭和店」上野駅産直市(山梨県観光推進課主催)では出張美術館ワークショップを行い、告知チラシ等を配布した。山梨県内外での認知度を上げるべく普段美術館に来館のないお客様へダイレクトに発信を行った。

(7/29・30) イオンモール甲府昭和店  
2日間計 約1,200名



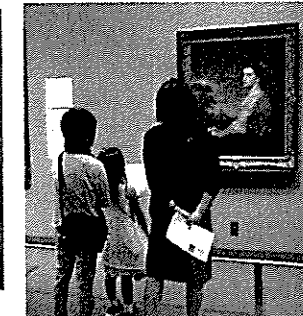
(8/26) JR上野駅  
ぬりえ&しおり作り 約90名



## 指定管理者活動トピックス 【2-9】広報イベントの開催

「かぞくで、アートたいむ」を実施した(4/22・7/29)。夏休み期間中の7月は、お子さまに関連する施設へ事前告知を行い、結果、これまで以上のご家族にご参加頂くことができた。館内をめぐるシールラリーも好評で、展示室はもちろん図書室なども巡り、美術館内全体をお楽しみいただいた。

展示室内での約束事等を説明



参加人数  
・4/22 15組49名  
・7/29 17組53名

## 指定管理者活動トピックス

### 【3-1】ホスピタリティデザインの構築

スタッフ全員参加での研修会(3/21・4/24)を実施した。サービス向上のために通年にわたり実施してきた活動についての振り返りや、チームワーク強化に向けたディスカッション、また次年度年間目標の共有を行っている。  
また、緊急時に常に安全・安心な対応がとれるよう、避難訓練も繰り返し実施している。



## 指定管理者活動トピックス

### 【4】下半期に予定している活動

かぞくでアートたいむ

インバウンド対応  
外国人向け茶会

ミュゼマルシェ

県民の日イベント

芸術の森公園  
アートツアー

美術館40周年（H30年度）  
に向けた取組みの企画

・キャッチコピー等を用いた  
広報活動

・関連イベントの企画実施

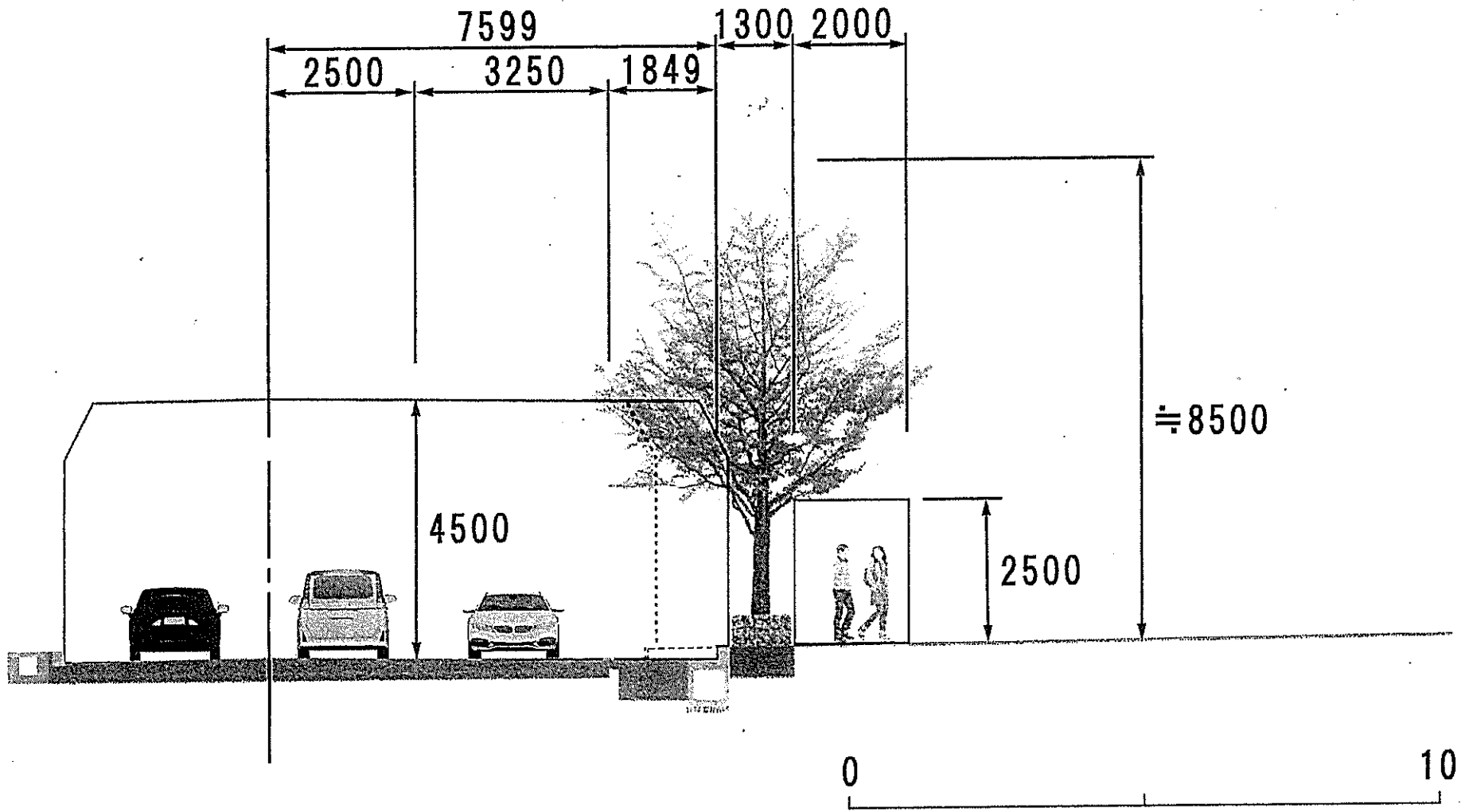
・館内連携とおもてなし接  
遇の強化

展覧会と関連付けた活動、賑わいの創出に繋がる活動を実施していく



# 国道52号貢川地区 歩道部イチョウ剪定資料

CASE①:現 況(剪定なし)



# 国道52号貢川地区 歩道部イチョウ剪定資料

CASE④-1:車道側H=4.5m剪定 歩道側H=4.5m剪定 剪定直後

